

つながり つづくよ 人の輪 地域の和



一人ひとりの心がけて
エコな取り組みを実現!

行政から発信
食品廃棄物の資源化。
その活動の輪が
次の広がりへ

南風原町で平成二十年にスタートした「生ごみ分別収集飼料堆肥化モデル事業」は、平成二十一年四月から「はえばる版リサイクル



はえばる豚を使ったメニューで人気なのはトンカツや三枚肉そば。食べ残しはほとんどありません

地域との連携
頻繁に連絡を取り合い
課題解決。福祉も加えた
循環の輪へ



互いの協力と
理解が大切ね!

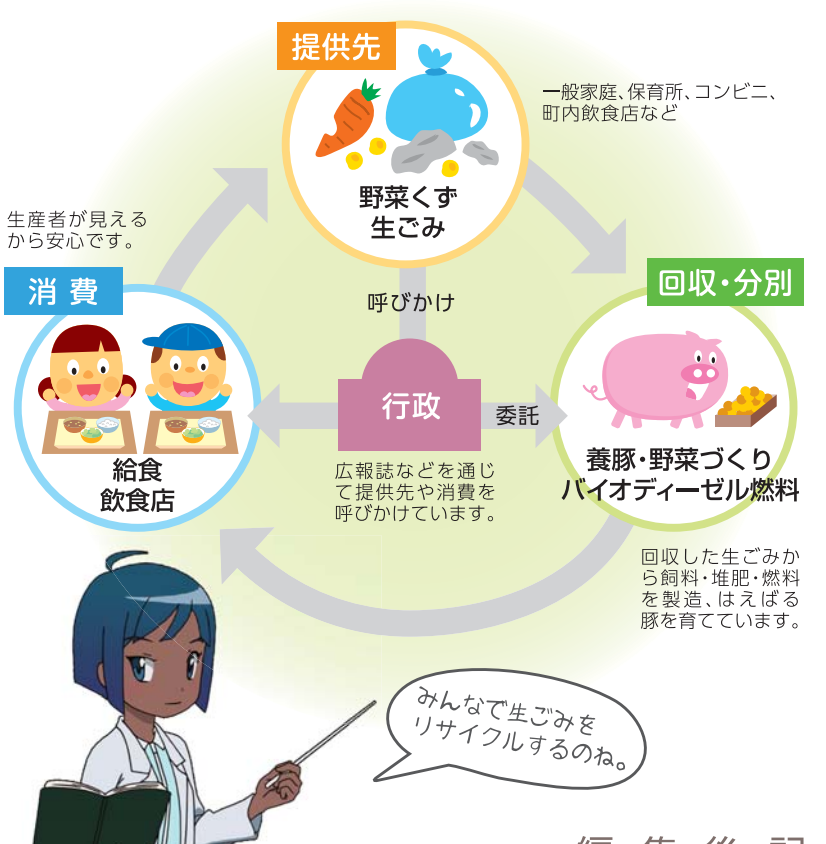
ループに関心を寄せ、参加する人も出てきました」と、のぞみの里の理事長・施設長の永坂生子さんは、うれしそうに語ります。

行政側の熱い想いに共感したこと
を語ります。行政とNPO、そして
住民が、手と手を取り合った同事
業は、雇用にもつながり始めました。
事業の委託先であるのぞみの里で
は、平成二十二年四月から障がい
者就労継続支援事業B型を受け、
障がいのある方の就労の場も創出
しています。「ゆくゆくは、養豚事
業を拡大させて、母豚から育てて
みたい。福祉との連携もさらに深
めたい。まだまだ、これからです」



リサイクルループの堆肥で育った野菜を前に、
のぞみの里の皆さん。(左端 理事長の永坂生子さん)

はえばる版リサイクルループ (食品残さの流れ)



南風原町

**食品廃棄物を資源化する
「はえばる版リサイクルループ事業」は、
人と未来を結ぶ豊かな循環です。**

「はえばる版リサイクルループ事業」として、より多くの住
民が参加する輪として動きだしま
した。リサイクルループ事業は、町
内で収集した生ごみからできた飼
料や堆肥を使って農畜産物を生産
し、その生産物を町内で食する「食
品廃棄物の循環の輪」です。現在、
生ごみ収集は、町内七地域と、町内
全域の飲食店やコンビニなどの事
業所へと対象を広げています。個
人の場合は月曜から土曜、事業所

の場合は日曜の収集もあり、収集
車がなかなか回れない地域では、
生ごみ処理機が満杯になったら連
絡をもらい収集に向かいます。「N
PO法人のぞみの里」は、この収集
から、それを飼料と堆肥、バイオ燃
料に加工する全作業を行っています。
食用油から作られるバイオデ
ィーゼル燃料は、町内の学校給食
配送車やごみ回収車、車九台の動
力として活用されています。

民間と協働
はえばる豚の誕生。
リサイクルループが
本格的に

リサイクルループの輪を構成す
る取り組みの一つ「はえばる豚」の
飼育は、現在、約五十頭の豚をの
ぞみの里が育て、枝肉加工し、保育
所や飲食店へ販売しています。同
豚の評判は上々で、「豚肉メニュー

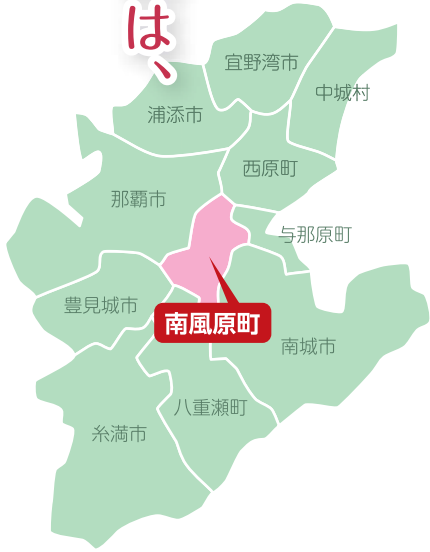


「行政と住民、NPO、みんなが
一緒にやっていると町は変わる」
と語る住民環境課の知念功さん

と知念さん。南風原町の人たちが
一体となった、環境、そして人にも
優しい循環型社会の構築。その取
り組みは続きます。



ほとんど臭いがしない豚舎。
糞尿は、床の木くずで分解され、発酵させて堆肥へ



編集後記

今月号から「美ら島沖繩」がリニューアルしました。表紙の
テーマは「次代へつなぐ、沖繩」で、伝統文化や工芸など、次代
につなげていきたい沖繩のものごとを毎月紹介します。新しい
広報誌と、新しい編集担当。どちらも新体制で県民のみなさまへ
情報をお届けしていきますので、よろしくお願ひします。(kai)

今年度から新しく広報誌を担当することになりました。
不慣れなことばかりで苦戦することもあります。「向き不向
きよりも前向き」をモットーに、県の情報をわかりやすく伝
えられるよう、日々務めていきたいと思ひます。(tama)

平成23年度5月1日発行 第35号巻5号通巻428号

沖縄県広報誌 **美ら島沖繩**

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020

アンケート

「美ら島沖繩」の感想をお聞かせください。
パソコンはこちら
<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

